

第 2135 回 2019 年 12 月 12 日例会報告

12/12	会員数	出席者数	欠席者数	出席率
	39 (38) 名	20 名	18 名	52.63 %
11/28	メイクアップを含む出席者	メイクアップ後欠席者数	メイクアップ後出席率	月出席率
	25 名	13 名	65.79 %	

第 2136 回 2019 年 12 月 19 日例会報告

点 鐘

斉 唱 ロータリーソング『我等の生業』

握手タイム

会長挨拶 大澤会長

1 年とは早いもので、本日が年内の最終例会となります。12 月は RI が設定した疾病予防と治療月間となりますが、これに関する内容は本日のロータリー研修卓話でご紹介しますので、私の挨拶はロータリーポリオ対策の歴史をご紹介します。

ロータリーが社会事業として身体障がい児対策を行った最初のクラブは、ニューヨーク州のシラキュース RC で 1913 年の事でした。1915 年にはオハイオ州のトレード RC 他、多数のクラブが障がい児対策に立ち上がり、1917 年にはオハイオ州のエリリア RC のエドガー・アレンが強く提唱した「全米身体障がい児協会」が設立され、それを通じて多くのクラブが支援活動を行いました。この活動が何を意味していたかを正確に知っている日本のロータリアンは少ないと思いますが、実は 1916 年にニューヨーク州だけで 2 万 7 千人がポリオに感染して身体障がいを発症し、9 千人が死亡するという大流行が発生したのです。ポリオウィルスは遺伝子変異性の高いウィルスで、年によって大流行をきたしたり、神経節破壊が強く身体障がい強く現れる感染を起こしたり、両者が重なることもあって、アメリカでは 1910 年代に何年にもわたって繰り返し大流行に見舞われていたのです。当時、まだワクチンが開発されていませんから、現在のロータリーのポリオプラス活動とは質的に異なるものですが、すでにこの当時のロータリーに、鉄の肺（人工呼吸器）や下肢の装具提供など、ポリオ対策活動が芽生えていました。

この後、R 財団補助金が投入された 1979 年のフィリピン児童 600 万人へのポリオ生ワクチン投与が、ロータリーのポリオプラス活動創設の元となり、1984 年ポリオ撲滅 2005 年計画が発表されました。1985 年当時、世界のポリオ発症数は毎年 35-50 万人と言われてきた中、全世界ロータリアンの一致団結した努力もありますが、2019 年 11 月時点ではパキスタン 80 件、アフガニスタン 20 件、世界合計 100 件のポリオ発症が報告されていて、END POLIO NOW（あともう少しだけです）。もしも世界からポリオが根絶されれば、日本の医療費も 200 億円ほど減るといわれていますし、ポリオワクチンを開発したジョナス・ソーク博士の誕生日を記念して定められた世界ポリオデー（10 月 24 日）の前後には、世界中のロータリーファミリーがポリ

オ根絶を目的としたイベントや活動を実施しています。ロータリーの最重要課題「ポリオ根絶」の意義をご理解頂ければ幸いです。

伝達

ロータリー財団

ポールハリスフェローピン 大野康則君

米山奨学委員会 姉崎委員長

大澤 力君、姉崎 健君からそれぞれ 3 千円いただきました。

ニコニコ BOX 紹介 谷合委員

青池秀夫君 来る新年が皆様共々良い年あります様。

森田雅巳君 皆さま本年はお世話になりました。良いお年をお過ごしください。

鈴木賢一君 本年中はお世話になりました。年賀状の代わりにニコニコします。

中山雄二君 今年一年お世話になりました。

今野克久君 今年一年お世話になりました。

姉崎 健君 皆様、一年大変お世話になりました。

ニコニコ BOX 総計 187,000 円

幹事報告 森田幹事

- ・例会終了後、定例理事会を開催します。
- ・本日、ロータリー情報委員会忘年会を岡田さんで開催。参加者の方よろしく願います。

ロータリー研修卓話、ロータリー情報

大澤 力 会長

片野 勉 ロータリー情報委員長

第 2136 回 2019 年 12 月 19 日例会報告

12/19	会員数	出席者数	欠席者数	出席率
	39 (37) 名	25 名	12 名	67.57 %
12/5	メイクアップを含む出席者	メイクアップ後欠席者数	メイクアップ後出席率	月出席率
	28 名	9 名	75.68 %	



●会長／大澤 力

●幹事／森田雅巳

●公共イメージ向上委員長／斎藤将彦

例会日／毎週木曜日12時30分 例会所／新潟市中央区川端町6丁目53 ホテルオークラ新潟 TEL:025-224-6111

事務所／〒951-8062 新潟市中央区西堀前通6番町905番地 第二西堀ビル5階 TEL:025-222-5050 FAX:025-222-5051

創立年月日／昭和50年6月5日 RI加盟年月日／昭和50年6月25日

第2,137回

2020・1月9日

本日の例会案内(1月9日)

卓話

『音を楽しむ集い』

ランチタイムコンサートinホテルオークラ

フルート演奏 篠田 美瑞氏
ピアノ演奏 斎藤 愛子氏

第2135回 2019年12月12日例会報告

点 鐘

斉 唱 ロータリーソング『奉仕の理想』

握手タイム

会長挨拶 大澤会長

先週は年次総会ありがとうございました。本日は、地区制度とガバナー制度の歴史をご紹介します。

RC設立の海外展開の結果、全米RC連合会は国際化が求められ、1912年、全米RC連合会は1910年に遡って連合会の名称を国際RC連合会に変更しました。この当時、アメリカ全土から海外にまでRCが展開すると、インターネットやテレビ電話のない時代ですから、本来、自主・自立を旨とするクラブの活動内容を中央の国際RC連合会が把握する事は、誠に困難でありました。そこで、ある程度の範囲を区切って、その地区の各クラブの活動状況を監督しようとの動きが起こってききました。

事の起りは1914年にイギリス及びアイルランドのRCが「大英帝国・アイルランド内RC連合会」という自治組織を結成したことにあります。そもそもクラブという結社は英国で生まれ、発展してきた自主・自立姿勢の強い組織ですから、英国内で自主的な連合組織をつくらうとしたのかもしれませんが、そして、この地域組織は同年に開催されたヒューストン国際大会で承認されたのです。

これが切っ掛けとなり、翌1915年のサンフランシスコ大会では、国際RC連合会に現行の“地区制”が取り入れられ、国際連合会の役員である“ガバナー”が地区内のクラブを指導・監督する制度が導

入されました。しかし既成の大英帝国・アイルランド内RC連合会にはこの制度が適用されませんでした。そして1922年に連合会がRIへと改称し、1927年に世界中のクラブがRIの直轄となって、地域自治制が否定された後も“大英帝国・アイルランド内RI”の所属するクラブだけは別格の扱いを受けていました。即ち、RI成立以前に結成していたという既得権(年会費の半分以上を内部保留する)が認められたという事です。この問題は1967年になって英国のクラブもRIの直轄方式を受け入れることに合意して解決しましたが、その後も長い間“大英帝国・アイルランド内RI”という名称だけが残されていました。

地区ガバナーとは、RIから派遣されたその年度のRIの役員であり、その地区内全クラブの指導・監督が役目となります。なぜ地区があるのか、なぜガバナーが必要なのか、このエピソードでご理解頂ければ幸いです。

公共イメージ向上委員会 小林副委員長

『ロータリーの友 12月号』紹介

親睦委員会 高木委員長

新年会オークションの品は12月19日と1月9日の例会にお持ちください。

幹事報告 森田幹事

- ・交換留学生の長谷部さんのバナー交換紹介
- ・次週例会終了後理事会を開催いたします。

卓話

「暴力団等、

反社の現状と企業防衛対策について」

新潟県暴力追放運動推進センター

専務理事 志賀 康則氏